

県民の声 実現に向け、政府交渉再開へ

04.10.22 甲良町議会議員 西澤のぶあき

党国会議員団滋賀事務所は政府交渉の再開に向け、県民や各自治体からの要望を聞き取り、このほどまとめました。甲良町からは西澤議員が下記の要望を提出しました。

* * * *

- 1、一級河川の犬上川の新幹線鉄橋から犬上大橋、さらに福寿橋までの川原には樹木が生い茂り、本格的な洪水になれば水流が妨げられ堤防決壊の重大な危険につながる。早急に伐採、しゅんせつなど抜本策を実施されたい。
(これは9月議会において中田要治議員が一般質問で取り上げていた課題で、今回の提出に協力していただいた。)
- 2、「三位一体改革」の補助金削減対象に「公営住宅建設補助等」をあげているが、当町ではストック計画にもとづく立替事業が始まったばかりであり、補助を継続されたい。
- 3、「三位一体改革」に下水道事業補助(流域下水道分)をあげているが、当町は17年度以降も、あと3割程度の面整備が残っており、この事業の補助廃止は致命的で事業が完遂できない。必要性については地方6団体の国庫補助負担金等に関する改革案(平成16.8.24)にある「下水道は、環境と命を守る根幹的な社会資本」や「地方6団体の意見というが、約4割(300)の市町村長が廃止を知らない。賛成はわずか2%、約8割(600)の市町村長が反対。」などの「必要性1~4」の通りである。ぜひ継続されたい。

* * * *

政府(各省庁)との交渉は11月の見込みです。

みなさんからご要望があればお寄せください。